

令和7年度
相生市行政評価
第三者評価報告書

令和7年9月

相生市行政評価第三者評価委員会

目 次

1	目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	委員構成・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	委員会開催状況・・・・・・・・	1
4	評価対象・・・・・・・・	2
5	評価視点・・・・・・・・	2
6	評価結果に対する総括・・・・・・・・	4
7	評価ヒアリングシート・・・・・・・・	5
8	評価対象事業 結果比較・・・・・・・・	1 2

1 目的

外部委員の専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を提言することで、行政評価の客観性、信頼性及び透明性を更に高めることを目的として第三者評価を実施いたしました。

2 委員構成

	氏 名	摘 要
委員長	横山 直子	大阪産業大学経済学部 教授
副委員長	山本 康善	公認会計士
委 員	森下 博和	相生商工会議所 専務理事
委 員	山本 涉	相生市連合自治会副会長
委 員	寅野 由香子	公募委員

3 委員会開催状況

開 催 日	会 議 名 等	主 な 内 容
令和7年8月20日(水) 14:00~16:00	令和7年度第1回 相生市行政評価第三者評価 委員会	行政評価ヒアリング (2事業)
令和7年8月22日(金) 13:30~15:30	令和7年度第2回 相生市行政評価第三者評価 委員会	行政評価ヒアリング (2事業)
令和7年8月25日(月) 13:30~16:30	令和7年度第3回 相生市行政評価第三者評価 委員会	行政評価ヒアリング (3事業)

4 評価対象

ヒアリングの対象は、事務局で選出した、担当課において、課題があると自己評価を行っている事業及び社会情勢の変化への対応が必要であるとする事業の下記の7事業といたしました。

令和7年度第三者評価対象事業

事務事業名	部 課 (室) 名
防 災 訓 練 事 業	企 画 総 務 部 危 機 管 理 課
空 家 等 対 策 事 業	市 民 生 活 部 地 域 振 興 課
羅 漢 の 里 も み じ ま つ り 事 業	市 民 生 活 部 地 域 振 興 課
高 年 ク ラ ブ 等 社 会 活 動 促 進 事 業	健 康 福 祉 部 長 寿 福 祉 室
羅 漢 の 里 管 理 事 業	建 設 農 林 部 農 林 水 産 課
高 齢 者 教 育 事 業	教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課
創 意 あ る 学 校 園 づ く り 事 業	教 育 委 員 会 学 校 教 育 課
7 事 務 事 業	

5 評価視点

施策から見た場合の評価及び事務事業単体としての評価の2つの視点において、各事務事業の評価を行いました。

(1) 構成事務事業の事後総合評価（施策からみた評価）

施策目標の達成のために、それぞれの事業がどれほど貢献しているか、また、同一施策内の構成事務事業と相対的に比較した場合の優先度はどうかを評価します。

(2) 事務事業の方向性評価（事業単独の評価）

事務事業単体として、どれくらいの成果がでているかを事業目的・指標に注視しながら評価します。評価観点は以下の項目となります。

①事業目的・指標について

- ・事業の目的が第6次総合計画の基本方針に沿って設定されているか
- ・目的の進捗、成果を確認するための指標が適切であるか

②妥当性について

- ・事業の目的は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか
- ・市の負担や補助の割合は適切であるか、また、官民の役割分担として市が関与すべきか
- ・今、実施することが適切であるか、また、他に優先すべき事業はないか

③有効性について

- ・事業の成果は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか
- ・成果は到達目標に向けて向上しているか
- ・上位の施策に対し、貢献できているか

④効率性について

- ・事業コストの節減が行えているか
- ・実施する手段は最適であるか（民間活用等の見直しの必要はないか）
- ・コストの負担割合、補助の対象範囲は適切であるか
- ・執行体制や執行方法は効果的か（もっと簡素化する見直しの必要はないか）

⑤改革・改善プラン達成度について

- ・市民サービス向上の改革・改善効果が見られたか、また、サービスの質的な向上の改革・改善効果が見られたか
- ・組織運営上または施設管理上の改革・改善効果が見られたか
- ・関係法令等が意図する状態に合致する改革・改善効果が見られたか

⑥透明性について

- ・市民に積極的な情報公開、情報提供、PRを行っているか
- ・コミュニティ組織育成の視点で人材や組織の育成や啓発に努めているか
- ・人権、男女共同参画、国際平和と国際交流、地域環境、文化的まちづくり、次世代育成や産業振興のいずれかの視点で事業実施しているか

6 評価結果に対する総括

令和7年度は、7事務事業についてヒアリングを実施し第三者評価を行った。ヒアリングは、事業単独でみた評価を行うことと、また、施策からみた評価を行うという形で進めた。質疑応答の時間がしっかりと確保されており、こちらから多くの質問を行うことが出来たことで有意義なヒアリングとなった点については高く評価できる。ただし、評価シートの記載内容や添付された資料において分かりにくい点が見受けられ、こちらからの質問に対するお答えをお聞きしてようやく理解を深めることが出来るものもあった。今後、評価シートや資料のさらなる充実が期待される。また、一層改善されるとより良くなると考える点について以下に述べさせていただきたい。

第一に、評価シートの文章や資料についてである。上述のように、評価シートにおける文章で示されている箇所において、記述内容が少ないところが複数の箇所でみられた。客観的な評価を行うためには評価シートがきわめて重要であることを再認識していただき、今後、評価シートの文章記述欄についてはより「ぎっしりと」かつ明瞭に記述されることが期待される。

第二に、ニーズに合致した取組を行うことの重要性である。ニーズに合った取組を行うためには「ニーズの把握」と「そのニーズに合致」という2つの要素を満たす必要がある。まずニーズは何かをきめ細かく把握する、そしてその上で、そのニーズに合致するために有効な取組を行うことがきわめて重要である。例えば、高齢者のための取組の場合、高齢者といっても60代、70代、80代、90代それぞれの世代でかなりニーズが違うはずであり、ニーズの把握においてより緻密さが求められる。

第三に、高い意欲や熱意は感じられるものの、「有効な取組である」ということを示した数値や分析結果など客観的な根拠資料が少ないため、説得力が弱いという点である。事務事業についてのヒアリングを通じて、評価は客観的に行う必要があるため、「指標の数値」が非常に重要な意味を有している。しかし、評価シートに示された指標の数値の中には、客観的な評価を行うために有用なものとはいえないものがみられた。評価シートにおいて示される指標（数値）は、その値が有する意味についてしっかりと説明することが出来るものであることが必須であるといえる。

第四に、「柔軟性」への期待の高まりと市民の納得と理解を得ることの重要性である。空家問題、防災や森林に関する全体の知識や意識を高めること、イベントの参加者を増やすことの困難性、またニーズの多様化、受益と負担の問題など、直面している課題は非常に多い。そのような中、今回ヒアリングを行った事務事業等いずれに対しても、とても熱心に取り組まれている意欲はひしひしと感じられた。柔軟に対応するという姿勢をより強く示し（アピールし）、常に、市民の納得と理解をしっかりと得ることができれば、課題の着実な解決につながっていくといえる。「柔軟性のある対応」が1つの大きなキーポイントになるのである。

相生市行政評価第三者評価委員会
委員長 横山 直子

7 評価ヒアリングシート

事務事業名	防災訓練事業		
評価結果			
施策からみた評価	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	(<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 縮小)	<input type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
事業単独でみた評価	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	(<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 縮小)	<input type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
<p>【評価理由】</p> <p>施策からみると、自主防災組織との合同訓練や避難所開設訓練など、平常時から実践的な訓練を行い、災害への備えの充実を図るべきである。</p> <p>事業単独でみると、予期せぬ災害が全国的に起きている中、様々な災害を想定し、市民等が「実際に避難する」訓練を開催すべきである。また、防災に対する市民の意識が高まっていることが分かるような取組みを行っていくべきである。</p>			
意見・指摘事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標は成果が測れる項目を設定すること。 ・危機管理課の職員以外も含めた市職員、消防団、自治会が連携した訓練が必要である。 			

事務事業名	空家等対策事業			
評価結果				
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま)	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上)
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま)	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上)
<p>【評価理由】</p> <p>施策からみると、施策目標達成のために、空き家バンクの活用が改善策として有効であると考えられるため、その方策について検討すべきである。</p> <p>事業単独でみると、空家の実態調査や苦情等への対応は一定程度出来ていると考えられるものの、今後更なる空家の件数増加が想定される中、空家となる、また、老朽危険空家となる前段階での対応も検討すべきである。</p>				
意見・指摘事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標は成果が測れる項目を設定すること。 (空家の利活用を示す指標や、固定資産税の税金など) ・今後、空家が増加し、現状の事業内容では対応が難しくなる可能性があるため、現段階から「拡大」し、早めに対応すべきとの意見もあった。 				

事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業	
評価結果		
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上) <input type="checkbox"/> 廃止
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上) <input type="checkbox"/> 廃止
<p>【評価理由】</p> <p>施策からみると、相生市を訪れる観光客の増加に繋がるように、市の三大祭りの一つとしての知名度向上に向け、イベント内容やPR手法などを工夫すべきである。</p> <p>事業単独でみると、来場者数の増加に向けて、かがしコンテストのあり方の見直しや子供向けイベントの改善を行うなど、リピーターの増加に繋がる内容を考えるべきである。物価高騰などにより収支改善は難しいかと思うが、コスト削減、収益増加を図るなど、様々な収支改善策により、イベントの継続に繋げていただきたい。</p>		
意見・指摘事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・指標については、イベント観客数をベースとしたものを最重要指標とすべきである。 ・市民全員が三大祭りの一つとして認識出来るように、イベント内容に合ったネーミングとするなど、まつりの知名度向上に向け、改善策を検討すること。 		

事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	
評価結果		
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
<p>【評価理由】</p> <p>施策からみると、市内の高齢者全員に対する事業ではなく、会員向けの事業であるため、施策内での優先順位は低い。施策目的の達成に向けて、高齢者全員に便益があるような方策も検討すること。また、他の部局の事業内容と類似している部分も見受けられるため、調整や連携の方策について検討すべきである。</p> <p>事業単独としては、会員数が減少している要因について、高年クラブの存在を知った上で未加入なのか、そもそも知らないのかによって対応策が変わってくるため、その点について分析すること。</p>		
意見・指摘事項		
<p>・会員と非会員と比較し、要介護になっている人が少ないなどのデータがあれば示すべきである。</p>		

事務事業名	羅漢の里管理事業	
評価結果		
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
<p>【評価理由】</p> <p>施策からみると、森林に触れることを通して、環境への理解を促進する取組みなどを検討すべきである。他の部局と連携し、農林水産課として森林整備・保全の面からこういった特色を出すのか整理すべきである。</p> <p>事業単独としては、受益と負担の関係を明確にし、対応すべきである。利用者の人数・満足度が増加することに注視するだけでなく、目的達成のためにはどのような事業内容にすべきか、整理・検討すべきである。</p>		
意見・指摘事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・森林への適切な理解を促す意味をより強く持たすべきである。 ・市民と市外の人とで利用料金に差を付けるなど、収支改善策を考えるべきである。収支改善のみを目指すことで環境破壊に繋がることのないようにすること。 ・羅漢の里ならではの様々な体験が出来る事業を取り入れるなど、活性化策について検討すること。 		

事務事業名	高齢者教育事業
評価結果	
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
<p>【評価理由】</p> <p>施策からみると、施策目的は市民全体が生涯にわたって学習を行えるように学習内容を提供することであるため、居場所づくりではなく、学習の機会を作るなどといった、より「学び」「知識を増やす」に重点を置くべきである。</p> <p>事業単独としては、講座内容を工夫し、「学び」を増やすべきである。また、生徒数が減少している中、出席要件のある本科生と聴講生を区別する必要があるのかを検討すべきである。</p>	
意見・指摘事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズは大きいですが、60歳から90歳以上までと年齢の幅が大きく、ニーズの幅も大きいので、講座内容を年代別にする、専門講座の専門性を高めるなどの工夫が必要である。 ・活動指標について、受講者数ではなく、より成果の測れる指標にすべきである。 ・年齢要件や受講料など工夫出来る部分は検討すべきである。 	

事務事業名	創意ある学校園づくり事業	
評価結果		
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止
<p>【評価理由】</p> <p>施策から見ると、他の構成事業と比較して効果が見えにくい。他の構成事業と違い、本事業は12年間継続的に実施される唯一の事業であり、実施前の生徒の状況と実施後の生徒の状況を比較してみるなど、より成果の測れる指標を設定すべきである。</p> <p>事業単独としては、「豊かな人間性や社会性を身につけること」を目的にしているのであれば、その目的の達成度が測れる指標を設定すべきである。12年間を通じて系統的に実施することの目的・特色を明確に、計画的に実施していただきたい。</p>		
意見・指摘事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 12年間を通じて系統的に教育を行っているのかが見えにくい。 ・ 本事業があるからこそその成果が見えない。 ・ 事業内容と繋がりのある指標を設定すべきである。 		

8 評価対象事業 結果比較

(1) 施策からみた評価

方向性	担当課	行革推進委員会	第三者評価委員会
継 続 (現状のまま)	2	—	—
継 続 (改善・見直しの上)	5	6	6
拡 大	—	1	1
縮 小	—	—	—
廃 止	—	—	—
合 計	7	7	7

事 務 事 業 名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
防 災 訓 練 事 業	継 続 (改善・見直しの上)	拡 大	拡 大
空 家 等 対 策 事 業	継 続 (現状のまま)	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)
羅 漢 の 里 も み じ ま つ り 事 業	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)
高 年 ク ラ ブ 等 社 会 活 動 促 進 事 業	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)
羅 漢 の 里 管 理 事 業	継 続 (現状のまま)	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)
高 齢 者 教 育 事 業	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)
創 意 あ る 学 校 園 づ く り 事 業	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)	継 続 (改善・見直しの上)

(2) 事業単独でみた評価

方向性	担当課	行革推進委員会	第三者評価委員会
継続 (現状のまま)	4	—	—
継続 (改善・見直しの上)	3	6	6
拡大	—	1	1
縮小	—	—	—
廃止	—	—	—
合計	7	7	7

事務事業名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
防災訓練事業	継続 (改善・見直しの上)	拡大	拡大
空家等対策事業	継続 (現状のまま)	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)
羅漢の里もみじまつり事業	継続 (現状のまま)	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)
高年クラブ等社会活動促進事業	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)
羅漢の里管理事業	継続 (現状のまま)	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)
高齢者教育事業	継続 (現状のまま)	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)
創意ある学校園づくり事業	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)